

Oracle.1z0-997-22-JPN.v2023-01-06.q54

試験コード : 1z0-997-22-JPN
試験名称 : Oracle Cloud Infrastructure 2022 Architect Professional (1z0-997-22日本語版)
認証ベンダー : Oracle
無料問題の数 : 54
バージョン : v2023-01-06
ページの閲覧量 : 1347
問題集の閲覧量 : 16687
<https://www.jpnsiken.com/shiken/Oracle.1z0-997-22-JPN.v2023-01-06.q54.html>

質問: 1

ブロック ボリュームのバックアップを定期的に別のリージョンにコピーすることで、ソース リージョンでリージョン全体の障害が発生した場合に、宛先リージョンでのアプリケーションとデータの再構築が容易になります。

VolumeAdmins グループがリージョン間でボリューム バックアップをコピーできるようにする IAM ポリシー ステートメントはどれですか？

- A. グループ VolumeAdmins がテナンシーでボリュームを使用できるようにする
- B. グループ VolumeAdmins がテナンシーでボリュームのバックアップをコピーできるようにする
- C. グループ VolumeAdmins がボリュームファミリーを管理できるようにする
- D. グループ VolumeAdmins がテナント内のボリュームを検査できるようにする

正解: C ([コメントを發表する](#))

The backups feature of the Oracle Cloud Infrastructure Block Volume service lets you make a point-in-time snapshot of the data on a block volume. These backups can then be restored to new volumes either immediately after a backup or at a later time that you choose.

You can copy block volume backups between regions using the Console, command line interface (CLI), SDKs, or REST APIs.

To copy volume backups between regions, you must have permission to read and copy volume backups in the source region, and permission to create volume backups in the destination region. to do all things with block storage volumes, volume backups, and volume groups in all compartments with the exception of copying volume backups across regions.

Allow group VolumeAdmins to manage volume-family in tenancy

The aggregate resource type volume-family does not include the VOLUME_BACKUP_COPY permission, so to enable copying volume backups across regions you need to ensure that you include the third statement in that policy, which is:

Allow group VolumeAdmins to use volume-backups in tenancy where
request.permission='VOLUME _BACKUP_COPY'

質問: 2

あなたは、会社の IoT プロジェクト用にサーバーレス機能を開発しています。この関数は、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Object Storageにアクセスして、いくつかのファイルを保存する必要があります。Oracle Functions を選択して、この関数を OCI にデプロイします。ただし、セキュリティ チームは、オブジェクト ストレージにアクセスするために OCI API に対して関数を認証するために、API トークンまたは RSA キーを携帯することを許可していません。この関数が静的認証ファイルを保持せずにOCIオブジェクト・ストレージにアクセスできるようにするには、どうすればよいですか？（**最良**の答えを選択する。）

```
A. Set up a Dynamic Group using the format below: ALL {resource.type = 'fnfunc', resource.compartment.id = 'ocidl1.compartment.oc1..aaaaaaaa23_____smwa'} Create a policy using the format below to give access to OCI Object Storage:
allow dynamic-group acme-func-dyn-grp to manage objects in compartment acme-storage-compartment where all {target.bucket.name= 'acme-functions-bucket'} Include a call to a "resource principal provider" in your function code as below: signer = oci.auth.signers.get_resource_principals_signer()

B. Add these two policy statements for your compartment and then include a call to a "resource principal provider" in your function code:
Allow group acme-functions-developers to inspect repos in tenancy
Allow group acme-functions-developers to manage repos in tenancy where all {target.repo.name=/acme-web-app*/}

C. There is no way that you can access the OCI resources from a running function.

D. Add these two policy statements for your compartment to give your function automatic access to all other OCI resources:
Allow group <group-name> to manage fn-app in compartment <compartment-name>
Allow group <group-name> to manage fn-function in compartment <compartment-name>
```

- A. オプション A
- B. オプション B
- C. オプション C
- D. オプション D

正解: ([正解を表示します](#))

<https://blogs.oracle.com/cloud-infrastructure/getting-started-with-oracle-functions-and-object-storage>

質問: 3

製造会社が自社のオンプレミス データベースを OCI に移行することを計画しており、移行のためにあなたを雇いました。お客様は、既存のオンプレミス データベースに関して次の情報を提供しています。

データベースのバージョン、ホストのオペレーティング システムとバージョン、データベースの文字セット、データ ステージング用のストレージ、許容可能なシステム停止期間。

適切な移行方法を推奨するために、顧客からどのような追加情報が必要ですか？ 2 つ選択してください

- A. データベースに最後にパッチが適用されてからの経過時間
- B. オンプレミス ホストのオペレーティング システムとバージョン
- C. アクティブな接続の数
- D. オンプレミス データベースで使用するデータ型
- E. 実行時間の長い上位 5 つのクエリ

正解: ([正解を表示します](#))

Not all migration methods apply to all migration scenarios. Many of the migration methods apply only if specific characteristics of the source and destination databases match or are compatible. Moreover, additional factors can affect which method you choose for your migration from among the methods that are technically applicable to your migration scenario.

Some of the characteristics and factors to consider when choosing a migration method are:

On-premises database version

Database service database version

On-premises host operating system and version

On-premises database character set

Quantity of data, including indexes

Data types used in the on-premises database

Storage for data staging

Acceptable length of system outage

Network bandwidth

質問: 4

管理者として、ObjectWriters グループのユーザーに、バケット Bucket-A およびコンパートメント comp-image 内のそのオブジェクトへのフル アクセスを付与したいと考えていま

す。ObjectWriters のユーザーが、コンパートメント comp-image 内の他のバケットとそのオブジェクトのプロパティにアクセスしたり変更したりできないようにする必要があります。

IAM ポリシーを最もよく定義するステートメントを以下から選択してください。

A. グループ ObjectWriters がコンパートメント comp-image 内のバケットを読み取ることを許可します グループ ObjectWriters がコンパートメント comp-image 内のオブジェクトを管理できるようにします。

B. グループ ObjectWriters がコンパートメント comp-image 内のバケットを管理できるようにする グループ ObjectWriters がコンパートメント comp-image 内のオブジェクトを管理できるようにする

C. グループ ObjectWriters が、target.bucket.name=' Bucket-A' であるコンパートメント comp-image 内のバケットを管理できるようにします。

D. グループ ObjectWriters がコンパートメント comp-image 内のバケットを検査できるようにする グループ ObjectWriters がコンパートメント comp-image 内のバケットを読み取ることを許可する where target.bucket.name=' Bucket-A' target.bucket.name=' バケット A'

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 5

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)のコンピュー ト・インスタンスでレガシー ・アプリケーションを実行しています。内部データを保存するのに十分なスペースを提供するために、ブロック ポリュームが準仮想化モードでインスタンスにアタッチされます。

アプリケーションは、クラッシュ コンシステント バックアップに対して回復力がありません。

安全で費用対効果の高い方法でブロックボリュームをバックアップするにはどうすればよいですか？（最良の答えを選択する。）

- A. アプリケーション データを保存し、ブロック ボリュームを切り離してバックアップを作成します。
- B. アプリケーション データを保存し、ブロック ボリュームをデタッチして、クローンを作成します。
- C. ボリューム グループを作成し、ブート ボリュームを追加してから、ボリューム グループのバックアップを実行します。
- D. バックアップを作成し、ブロック ボリュームをデタッチして、アプリケーション データを保存します。

正解: A ([コメントを發表する](#))

質問: 6

組織には、uk-london-1 リージョンの Virtual Cloud Network (VCN) 内で実行されている複数のアプリケーション サーバーとデータベースで構成されるミッション クリティカルなアプリケーションがあります。同社のソリューション アーキテクトは、eu-frankfurt-1 リージョンでのディザスター リカバリー (DR) を計画して、アーキテクチャをさらに強化したいと考えています。DR の設計時にアーキテクトが留意すべき 2 つのソリューションはどれですか？

- A. Active Data Guard を使用して、uk-london-1 リージョンのデータベースを eu-frankfurt-1 リージョンの同等のデータベースに同期することはできません。
- B. uk-london-1 および eu-frankfurt-1 リージョンで作成された異なる VCN 間で安全で信頼性の高い接続を確立するには、リモート VCN ピアリング接続が必要です。
- C. ロード バランサーは、両方のリージョン間でトラフィックを自動的に分散します。
- D. rsync ユーティリティを使用して、ファイル システムまたはスナップショット データを別のリージョンに非同期にコピーできます。
- E. RTO は、アプリケーションが許容できる失われたデータの許容時間枠です。

正解: B,C ([コメントを發表する](#))

質問: 7

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Container Engine for Kubernetes (OKE) で実行されるマイクロサービス ベースのアプリケーションを開発しました。パブリック インターネットに公開する必要がある複数のエンドポイントがあります。

アプリケーションを複雑にすることなく、複数のアプリケーション エンドポイントを公開する最も費用対効果の高い方法は何ですか？

- A. サービス エンドポイントごとに Kubernetes で clusterIP サービス タイプを使用し、ロード バランサーを使用してエンドポイントを公開します。
- B. Ingress コントローラーをデプロイし、それを使用して、独自のルーティング エンドポイントを持つ各エンドポイントを公開します。

C. サービス エンドポイントごとに Kubernetes で NodePort サービス タイプを使用し、ノードのパブリック IP アドレスを使用してアプリケーションにアクセスします。

D. サービスごとに個別の負荷分散インスタンスを使用しますが、100 Mbps の負荷分散オプションを使用します。

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

質問: 8

ある企業は、2 週間で 100 TB のデータを Oracle Cloud Infrastructure (OCI) に移行するという緊急の要件を持っています。100 Mbps のインターネット回線がありますが、インターネット プロバイダーに問題があるため、接続が断続的です。このシナリオで、データを OCI に移行する最も時間効率の良いメカニズムは何ですか？

A. OCI ファイル ストレージ サービスを使用して、データ センターから OCI にデータをコピーします。

B. データセンターと OCI の間に 1 Gbps の FastConnect 仮想回線を起動して、ハイブリッド ネットワークをセットアップします。OCI Object Storageのマルチパート ・アップロード機能を使用して、データのOCIへの移行を自動化します。

C. データセンターとOCIの間にIPSec VPNトンネルを設定します。OCI Storage Gateway を使用して、すべてのデータを OCI にアップロードします。

D. OCI Object Storageのマルチパート ・アップロード機能を使用してデータをアップロードします。

E. OCI Storage Gateway をセットアップして、データセンターを Virtual Cloud Network に接続し、データをアップロードします。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 9

複数のアベイラビリティ ドメインにまたがる自動スケーリングによって制御される仮想マシン インスタンスを使用して、Oracle Cloud Infrastructure にオーダーメイドの金融アプリケーションを実装するよう依頼されました。アプリケーションは、トランザクション ログ、中間トランザクション データ、および監査データを保存し、すべてのアプリケーション サーバーからアクセスできる永続的で耐久性のあるデータ ストアにこれらを保存する必要があります。このアプリケーションでは、ファイル システムを Linux ファイル システムの /audit フォルダにマウントする必要があります。システムは、2 つ以上のフォールト ドメインの障害を許容し、データの整合性を維持する必要があります。ソリューションは、可能な限りメンテナンスを少なくする必要があります。

どのストレージ アーキテクチャを提案する必要がありますか？

A. ファイル ストレージ サービス (FSS) を使用します。アプリケーション サーバーが動作するすべての可用性ドメインから動作するように FSS を構成し、ファイル システムを /audit フォルダにマウントします。

B. ローカルに接続された NVMe インスタンスを使用し、サーバー間の RAID 0 レプリケーションを構成します。

C. デフォルトのマウント オプションを使用して、すべての Linux インスタンスの /audit マウントポイントにマウントされた Oracle Object Storage にデータを格納します。

D. 単一のインスタンスを実装して NFS サーバーをインストールし、NFS 共有を構成して作成し、これを /audit としてアプリケーション インスタンスにマウントします。

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

質問: 10

保険会社は、重要な財務データを OCI ブロック ボリュームに格納しています。このボリュームは現在、Oracle 管理鍵を使用して暗号化されています。規制遵守のため、お客様は、オラクルが管理する鍵ではなく、お客様が管理できる鍵を使用してデータを暗号化することを望んでいます。カスタマー マネージド キーを使用してブロック ボリュームを暗号化するには、次の一連のタスクのうちどれが必要ですか？

A. ボールトを作成し、マスター暗号化キーをボールトにインポートし、データ暗号化キーを生成し、データ暗号化キーをブロック ボリュームに割り当てます。

B. マスター暗号化キーの作成、データ暗号化キーの作成、既存のオラクル管理キーを使用したブロック ボリュームの復号化、データ暗号化キーを使用したブロック ボリュームの暗号化

C. ボールトを作成し、ボールトにマスター暗号化キーを作成し、このマスター暗号化キーをブロック ボリュームに割り当てます。

D. マスター暗号化キーを作成し、暗号化キーの新しいバージョンを作成し、既存のOracle管理キーを使用してブロック ボリュームを復号化し、暗号化キーの新しいバージョンを使用して暗号化します

正解: ([正解を表示します](#))

Explanation

Oracle Cloud Infrastructure Vault lets you centrally manage the encryption keys that protect your data and the secret credentials that you use to securely access resources. You can use the Vault service to create and manage the following resources:

Vaults

Keys

Secrets

Vaults securely store master encryption keys and secrets that you might otherwise store in configuration files or in code.

The Vault service lets you create vaults in your tenancy as containers for encryption keys and secrets. If needed, a virtual private vault provides you with a dedicated partition in a hardware security module (HSM), offering a level of storage isolation for encryption keys that's effectively equivalent to a virtual independent HSM.

質問: 11

ある企業は、Oracle Cloud Infrastructure でハイ パフォーマンス コンピューティング ワークロードを実行しており、OCI ベア メタル コンピューティング シェイプを使用しています。彼らは、ベアメタル インスタンスのブート ディスクのカスタム イメージを作成し、それを使用して他のインスタンスを起動することにしました。

次のうち、正しくない記述はどれですか？

- A. シェイプ間のハードウェアの違いにより、カスタム Windows イメージの編集はサポートされていません。
- B. カスタム イメージには、接続されたブロック ボリュームからのデータは含まれません。
- C. インスタンスのカスタム イメージを作成する前に、すべての iSCSI アタッチメントを切断し、インスタンスからすべての iscsid ノード構成を削除する必要があります。
- D. インスタンスがイメージ作成プロセスに関与している間に、インスタンスの追加のカスタム イメージを作成できます。

正解: D ([コメントを发表する](#))

質問: 12

保険会社は、重要な財務データをOracle Cloud Infrastructureブロック ボリュームに格納しています。このボリュームは現在、Oracle 管理鍵を使用して暗号化されています。規制遵守のため、お客様は、オラクルが管理する鍵ではなく、お客様が管理できる鍵を使用してデータを暗号化することを望んでいます。

カスタマー マネージド キーを使用してブロック ボリュームを暗号化するには、次の一連のタスクのうちどれが必要ですか？

- A. マスター暗号化キーを作成し、データ暗号化キーを作成し、既存の Oracle マネージド キーを使用してブロック ボリュームを復号化し、データ暗号化キーを使用してブロック ボリュームを暗号化します。
- B. ボールトを作成し、マスター暗号化キーをボールトにインポートし、データ暗号化キーを生成し、データ暗号化キーをブロック ボリュームに割り当てます。
- C. ボールトを作成し、ボールトにマスター暗号化キーを作成し、このマスター暗号化キーをブロック ボリュームに割り当てます。
- D. マスター暗号化キーを作成し、新しいバージョンの暗号化キーを作成し、既存のオラクル管理キーを使用してブロック ボリュームを復号化し、新しいバージョンの暗号化キーを使用して暗号化します。

正解: C ([コメントを发表する](#))

質問: 13

次のうち、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Streaming サービスの適切なユースケースではないものはどれですか？

- A. メトリクスとログ データを取り込み、重要な運用データをより迅速にインデックス作成、分析、視覚化に利用できるようにします。

B. 監査目的でデータを取得できるように、データを長期間変更しないというコンプライアンス要件を満たすこと。

C. クラウド コンポーネントが監査、会計、および関連するアクティビティのライフ サイクル イベントを報告するための統一されたエントリ ポイントを提供します。

D. プルベースの通信モデルを使用したメッセージングと、複数のコンシューマーに同じデータを個別に供給する機能。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 14

ビデオ処理を専門とする中小企業は、コストを削減するためにクラウド ストレージを活用したいと考えています。彼らは、生成されたすべてのビデオ データを既存のオンプレミス ファイル サーバーから Oracle Cloud Infrastructure (OCI) にバックアップしようとしています。要件は、オンプレミスのファイル サーバーに変更が加えられたときに、継続的なデータ同期をセットアップすることです。このシナリオで最も費用対効果の高いソリューションは何ですか？

A. オンプレミスの OCI Storage Gateway Cloud Sync をセットアップして、動画を OCI Object Storage Archive 層にバックアップします。

B. VPN 接続接続をセットアップし、すべてのビデオをオブジェクトストレージ標準バケットにバックアップします。30 日以上経過したファイルをアーカイブ ストレージに移動するライフサイクル ポリシーを作成します。

C. Fastconnect 仮想回線をセットアップし、夜間にすべてのビデオを OCI アーカイブ ストレージにバックアップします。

D. OCI でファイル ストレージ サービスをセットアップし、オンプレミスで実行されているインスタンスにファイル システムをマウントします。すべてのデータをこのオンプレミス インスタンスに移動してから、ビデオを共有ファイル システムに同期します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 15

Microsoft Azure で実行されているアプリケーションがあり、ビジネス分析を実行するために Oracle Autonomous Data Warehouse (ADW) インスタンスを使用したいと考えています。このようなユースケースに対して安全なソリューションを構築するにはどうすればよいでしょうか？

A. FastConnect と ExpressRoute を使用して、OCI と Microsoft Azure 間の相互接続をセットアップします。OCI Virtual Cloud Network のサービス ゲートウェイを使用して、Microsoft Azure VNet のアプリケーションに Oracle ADW インスタンスへの接続を提供します。

B. Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Virtual Cloud Network (VCN) と Microsoft Azure Virtual Network (VNet) の間にソフトウェア リモート ピアリング接続を作成し、アプリケーションを Oracle ADW インスタンスに接続します。

C. Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Virtual Cloud Network (VCN) と Microsoft Azure Virtual Network (VNet) の間にソフトウェア VPN 接続を作成し、アプリケーションを Oracle ADW インスタンスに接続します。

D. VCNのOracle ADWをインターネット経由でMicrosoft Azure VNetに接続します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 16

新興企業は、冷凍食品を運ぶ輸送車両に取り付けられた IOT デバイスによって送信されるデータを処理するためのソリューションを探しています。データはリアルタイムで消費および処理する必要があります。処理されたデータは、OCI Object Storage バケットにアーカイブする必要があります。Autonomous Data Warehouse (ADW) を使用して分析を処理します。

この要件を満たすのに役立つアーキテクチャはどれですか？

A. OCI Streaming Service を使用して、着信生体認証データを収集します。オープン ソースの Hadoop クラスターを使用して、データ ホーン ストリーミング サービスを分析します。結果を OCI Autonomous Data Warehouse (ADW) に保存して、複雑な分析を処理します

B. OCI Streaming Service を使用して、着信生体認証データを収集します。Oracle 関数を使用して日付を処理し、結果をリアルタイム ダッシュボードに表示し、結果を OCI オブジェクトストレージに保存します。データを OCI Autonomous Data Warehouse (ADW) に保存して、分析を処理します。

C. OCI オブジェクトストレージバケットを作成して、スマート ペットの首輪から受信するバイオメトリック データを収集します データ ホーン OCI オブジェクトストレージを OCI Autonomous Data Warehouse (ADW) に毎日フェッチし、それを使用して分析ジョブを実行します

D. オープン ソースの Hadoop クラスターを起動して、受信する生体認証データを収集します。オープン ソースの Fluentd クラスターを使用してデータを分析し、結果を OCI Autonomous Transaction Processing (ADW) に渡して複雑な分析を処理します。

正解: ([正解を表示します](#))

Real-time processing of high-volume streams of data

- OCI Streaming service provides a fully managed, scalable, durable storage option for continuous, highvolume streams of data that you can consume and process in real-time

- Use cases

Log and Event data collection

Web/Mobile activity data ingestion

IoT Data streaming for processing and alerts

Messaging: use streaming to decouple components of large systems

- Oracle managed service with REST APIs (Create, Put, Get, Delete)

- Integrated Monitoring

有効的な**1z0-997-22-JPN**問題集はJPNTTest.com提供され、**1z0-997-22-JPN**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**1z0-997-22-JPN**試験問題集を提供します。JPNTTest.com 1z0-997-22-JPN試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-997-22-JPN**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-997-22-JPN-mondaishu> **167問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

組織は、オンプレミス環境と、us-phoenix-1 リージョンにある Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Virtual Cloud Network (VCN) を備えたハイブリッド セットアップに IT インフラストラクチャを持っています。オンプレミス アプリケーションは、ハードウェア VPN 接続を介して VPN 内のコンピューティング インスタンスと通信します。彼らは、OCI 環境に侵入検知および防止 (IDS/IPS) システムを実装しようとしています。このプラットフォームには、VCN 内で実行されているインスタンスの数千のコンピューティングにスケーリングする機能が必要です。

この目標を達成するには、OCI でソリューションをどのように設計する必要がありますか？

- A. OCI プライベート ロード バランスを設定します。TCP および/または HTTP レベルで IDS/IPS 関連のヘルスチェックを構成して、トラフィックを検査します
- B. すべてのネットワーク トラフィックを収集し、そのトラフィックを IDS/IPS プラットフォームに送信して検査するエージェントを使用して、各ホストを構成します。
- C. IPsec VPN トンネルを経由するトラフィックは既に暗号化されているため、IPS/IDS システムを実装する必要はありません。
- D. コンピューティング インスタンス プールで自動スケーリングを構成し、vNIC をプロミスキャス モードに設定して、vcn を介して呼び出されたトラフィックに送信し、検査のために IDS/IPS プラットフォームを送信します。

正解: B ([コメントを发表する](#))

in Transit routing through a private IP in the VCN you set up an instance in the VCN to act as a firewall or intrusion detection system to filter or inspect the traffic between the on-premises network and Oracle Services Network.

The Networking service lets you implement network security functions such as intrusion detection, application-level firewalls In fact, the IDS model can be host-based IDS (HIDS) or network-based IDS (NIDS). HIDS is installed at a host to periodically monitor specific system logs for patterns of intrusions. In contrast, an NIDS sniffs the traffic to analyze suspicious behaviors. A signature-based NIDS (SNIDS) examines the traffic for patterns of known intrusions. SNIDS can quickly and reliably diagnose the attacking techniques and security holes without generating an overwhelming number of false alarms because SNIDS relies on known signatures.

However, anomaly-based NIDS (ANIDS) detects unusual behaviors based on statistical methods. ANIDS could detect symptoms of attacks without specific knowledge of details. However, if the training data of the normal traffic are inadequate, ANIDS may generate a large number of false alarms.

質問: 18

あなたは、オンライン小売店のソリューション アーキテクトとして働いており、ユーザーが食料品の支払いにクレジットカードを使用できるようにするポータルを作成しています。アプリケーションは Payment Card Industry Data Security Standard (PCI DSS) に完全には準拠していないため、あなたの会社はサードパーティの支払いサービスを使用してクレジットカード支払いを処理しようとしています。

サードパーティのサービスでは、Spelunk IP アドレスの最大数は一度に 5 つのパブリック IP アドレスです。ただし、Web サイトは Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Instance Pool Auto Scaling ポリシーを使用して、トラフィック需要のピーク時に最大 15 個のインスタンスを作成します。VCNプライベート・サブネットのVCNプライベートで起動され、OCIパブリック・ロード・バランサに接続されます。ユーザーが支払いを行うと、ポータルはインターネット経由で支払いサービスに接続します! すべてのコンピューティング インスタンスがサードパーティのシステムに接続して、トラフィック需要のピーク時に支払いを処理できるようにするために、どのようなソリューションを実装できますか?

- A.** コンピューティング インスタンスからのクレジットカード支払い要求を NAT ゲートウェイ経由でルーティングします。サードパーティ サービスで、NAT ゲートウェイに関連付けられたパブリック IP をホワイトリストに登録します。
- B.** コンピューティング インスタンスのパブリック IP アドレスを自動的に予約する OCI コマンドライン インターフェイス (CLI) スクリプトを作成します。サードパーティ サービスで、予約済みパブリック IP をホワイトリストに登録します。
- C.** サードパーティ サービスでインターネット ゲートウェイのパブリック IP をホワイトリストに登録し、すべての支払い要求をインターネット ゲートウェイ経由でルーティングします。
- D.** OCI ロード バランサを介してコンピューティング インスタンスから支払い要求をルーティングします。これは、サードパーティ サービスにルーティングされます。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

<https://docs.oracle.com/en-us/iaas/Content/Balance/Concepts/balanceoverview.htm>

質問: 19

あなたの会社はまもなく、重要なシステムを Oracle Cloud Infrastructure (OCI) プラットフォームに移行し始めます。これらのシステムは、us-phoenix-1 および us-ashburn 1 リージョンに配置されます。移行計画の一環として、会社の既存のセキュリティ ポリシーと、会社内での OCI プラットフォームの使用に関する書面によるガイドラインを確認しています。会社が管理するキーを使用する必要があります。

このポリシーへの準拠を保証する 2 つのオプションはどれですか?

- A.** OCI コンソールを使用して新しいコンピュート インスタンスを作成する場合、「ブートボリュームの構成」のデフォルト オプションを使用して、このコンピュート インスタンスを作成するプロセスを高速化します。

- B. OCIコンソールから新しいブロック・ボリュームを作成する場合、キー管理を使用して暗号化」チェックボックスを選択し、OCIキー管理サービスで生成および保存された暗号化キーを使用します。
- C. OCIコンソールを介して新しい計算インスタンスを作成する場合、デフォルトの形状を使用して、この計算インスタンスを作成するプロセスを高速化します。
- D. OCI コンソールを介して新しい OCI Object Storage バケットを作成する場合、顧客管理キーを使用した暗号化」オプションを選択する必要があります。
- E. OCIブロック・ボリューム・サービスは、256ビット暗号化によるAdvanced Encryption Standard (AES)アルゴリズムを使用して、保存時のすべてのブロック・ボリューム、ブート・ボリュームおよびボリューム・バックアップを常に暗号化するため、追加のアクションを実行する必要はありません。

正解: ([正解を表示します](#))

Block Volume Encryption

By default all volumes and their backups are encrypted using the Oracle-provided encryption keys. Each time a volume is cloned or restored from a backup the volume is assigned a new unique encryption key.

You have the option to encrypt all of your volumes and their backups using the keys that you own and manage using the Vault service.If you do not configure a volume to use the Vault service or you later unassign a key from the volume, the Block Volume service uses the Oracle-provided encryption key instead.

This applies to both encryption at-rest and in-transit encryption.

Object Storage Encryption

Object Storage employs 256-bit Advanced Encryption Standard (AES-256) to encrypt object data on the server. Each object is encrypted with its own data encryption key. Data encryption keys are always encrypted with a master encryption key that is assigned to the bucket. Encryption is enabled by default and cannot be turned off. By default, Oracle manages the master encryption key. However, you can optionally configure a bucket so that it's assigned an Oracle Cloud Infrastructure Vault master encryption key that you control and rotate on your own schedule.

Encryption: Buckets are encrypted with keys managed by Oracle by default, but you can optionally encrypt the data in this bucket using your own Vault encryption key. To use Vault for your encryption needs, select Encrypt Using Customer-Managed Keys. Then, select the Vault Compartment and Vault that contain the master encryption key you want to use. Also select the Master Encryption Key Compartment and Master Encryption Key.

質問: 20

あなたは旅行会社で働いており、旅行ポータル アプリケーションは、Oracle Cloud Infrastructure Container Engine for Kubernetes で実行されるマイクロサービスのコレクションです。最近のセキュリティの概要によると、Oracle がワーカー ノードで使用されるオペレーティング システムの新しいイメージを公開していることに気がきました。アプリケーションがダウンタイムに直面

しないようにすると同時に、ワーカー ノードを最新バージョンのオペレーティング システムにアップグレードする必要があります。

アプリケーションのダウンタイムなしでこのアップグレードを完了するにはどうすればよいですか？（最良の答えを選択する。）

A. 1. ワーカー ノードをシャットダウンします。2. 新しいノード プールを作成します。3. 新しく構築されたノード プールでポッドを手動でスケジュールします。

B. 1. 利用可能な最新のオペレーティング システム イメージを使用して、新しいノード プールを作成します。2. 古いプール内のすべてのワーカー ノードに対して `kubectl cordon <ノード名>` を実行して、新しいアプリケーション ポッドを停止してスケジュールを取得します"`force`
`ignore`"`daemonsets` を実行して、実行中のすべての Pod を削除します。4. 古いノード プールを削除します。

C. 1. 利用可能な最新のオペレーティング システム イメージを使用して新しいノード プールを作成します 2. `kubectl taint nodes ""all node""role.kubernetes.io/master""` を実行します 3. 古いノード プールを削除します

D. 1. 古いプール内のすべてのワーカー ノードに対して `kubectl cordon <ノード名>` を実行し、新しいアプリケーション ポッドを停止してスケジュールを取得します。data "`force`
`ignore`"`daemonsets` により、実行中のすべての Pod が削除されます

正解: ([正解を表示します](#))

[https://docs.cloud.oracle.com/en-](https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/ContEng/Tasks/contengupgradingk8sworkernode.htm)

[us/iaas/Content/ContEng/Tasks/contengupgradingk8sworkernode.htm](https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/ContEng/Tasks/contengupgradingk8sworkernode.htm)

質問: 21

あなたは、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Events サービスと Oracle Functions を紹介する顧客向けのデモを作成しています。画像が OCI Object Storage バケットにアップロードされるたびにイベントを作成する予定です。イベントをリッスンし、顔認識のために画像を処理する関数も作成しました。

デモを正常に実行するために必要ではないアクションを以下から 2 つ選択してください。

A. デモを機能させるには、顔認識を行う機能をデプロイする必要があります。

B. OCIオブジェクトストレージに対してイベントルールの作成は許可されていません。

C. 関数は、Oracle Kubernetes Engine (OKE) にのみデプロイする必要があります。

D. イベント サービスの作成時にアクション タイプを指定し、トリガーする機能を指定する必要があります。

E. Object Storage バケットが状態変化のイベントを発行できるようにする必要があります。

正解: **B,C** ([コメントを發表する](#))

質問: 22

あなたは現在、米国統計局に拠点を置く公的医療会社で働いています。既存の患者記録はオンプレミスのデータ センターで実行されており、顧客は復旧計画の一環としてテープ バックアップをオフサイトに送っています。

あなたは、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) を使用して、会社が年間でかなりの額を節約できる代替アーカイブ ソリューションを開発しました。このソリューションには、OCI オブジェクト ストレージ バケットにデータを格納することが含まれます。お客様のグローバル コンプライアンス (GRC) チームと共にソリューションをレビューした後、彼らは次のセキュリティ要件を強調しました。

* 1 年未満のすべてのデータは、2 時間以内にアクセスできる必要があります。

* すべてのデータは少なくとも 10 年間保持され、48 時間以内にアクセスできる必要があります

* AH データは保存時に暗号化する必要があります

* 公共のインターネットを介してデータを送信することはできません

お客様の GRC チームが概説した要件を満たす 2 つのオプションはどれですか？

A. 最も近いOCIリージョンへのFastConnectリンクをプロビジョニングし、プライベート・ピアリング仮想回線を構成します。

B. OCI Object Storage Standard 層のバケットを作成します ライフサイクル ポリシーを構成して、365 日より古いオブジェクトをアーカイブします

C. オンプレミスのデータセンターと OCI の間に VPN 接続を作成します。OCIオブジェクト・ストレージ用のOCIサービス・ゲートウェイとともに仮想クラウド・ネットワーク(VCN)を作成します。

D. 最も近いOCIリージョンへのFastConnectリンクをプロビジョニングし、パブリック・ピアリング仮想回線を構成します

E. OCI Object Storage Standard 層のバケットを作成します。7 年以上経過したオブジェクトを削除するようにライフサイクル ポリシーを構成する

正解: ([正解を表示します](#))

The Oracle Services Network is a conceptual network in Oracle Cloud Infrastructure that is reserved for Oracle services. These services have public IP addresses that you typically reach over the internet. However, you can access the Oracle Services Network without the traffic going over the internet. There are different ways, depending on which of your hosts need the access:

Hosts in your on-premises network:

- Private access through a VCN with FastConnect private peering or VPN Connect: The on-premises hosts use private IP addresses and reach the Oracle Services Network by way of the VCN and the VCN's service gateway.

- Public access with FastConnect public peering: The on-premises hosts use public IP addresses. regarding which Fastconnect Public peering: To access public services in Oracle Cloud Infrastructure without using the internet. For example, Object Storage, the Oracle Cloud Infrastructure Console and APIs, or public load balancers in your VCN. Communication across the connection is with IPv4 public IP addresses. Without FastConnect, the traffic destined for public IP addresses would be routed over the internet. With FastConnect, that traffic goes over your private physical connection.

so Answer 4 will be the best answer that meets the customer requirement A service gateway lets your virtual cloud network (VCN) privately access specific Oracle services without exposing the data to the public internet. No internet gateway or NAT is required to reach those specific services. The resources in the VCN can be in a private subnet and use only private IP addresses.

The traffic from the VCN to the Oracle service travels over the Oracle network fabric and never traverses the internet.

Object Lifecycle Management lets you automatically manage the archiving and deletion of objects. By using Object Lifecycle Management to manage your Object Storage and Archive Storage data, you can reduce your storage costs and the amount of time you spend managing data.

質問: 23

あなたは、人気のある E コマース サイトのユーザーが注文を送信するために使用するモバイルアプリケーションの作成を依頼されました。このアプリケーションは、Autonomous Transaction Processing - Serverless (ATP-S) データベースをバックエンドとして、Oracle Application Express の HTML5 をフロントエンドとして動作するように構築されています。アプリケーションのピーク使用時に、アプリケーションの応答時間が非常に遅いことに気付きました。ATP-S データベースは、3 つの CPU コアと 1 TB のメモリでデプロイされます。アプリケーションの応答時間を改善するための費用がかかる、または非現実的な方法を 2 つ選んでください。

- A. ATP-S データベースの機械学習 (ML) 機能を繰り返し使用して、アプリケーションで使用される SQL クエリを調整します。
- B. ピーク時に必要な最大 CPU 容量を特定し、ATP-S データベースの CPU コア数をその数値にスケールアップします。ATP-S は、不要な場合に CPU コア カウントを縮小します。
- C. ピーク時に CPU コア数とメモリをスケールアップします。
- D. ピーク時に必要な最大メモリ容量を特定し、ATP-S データベースのメモリをその数にスケールアップします。ATP-S は、必要のないときにメモリを縮小します。
- E. ATP-S データベースで CPU コアの自動スケールアップを有効にします。

正解: B,C ([コメントを發表する](#))

質問: 24

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) OS Managementサービスを使用して、OCIのコンピューティング インスタンスでOracle Linux 8環境の更新とパッチを管理しています。OS Management Service Agent (osms-agent) がインスタンスにインストールされ、適切に実行されていることを確認しました。

コンピューティング インスタンスの 1 つが OS Management Service から更新を取得していません。次のコマンドを使用して、`curl https://ingestion.osms` を実行することにより、インスタンスが OS Management Ingestion サービスに到達できないことを検証します。

<地域>.oci.oraclecloud.com/

この問題の考えられる理由ではないのはどれですか？

- A. インスタンスは、インターネット ゲートウェイのある publicsubnet にあります。
- B. インスタンスは、OS Management ingestion サービスにアクセスするように構成されたセキュリティ ルールを持つプライベート エンドポイントを持つプライベート サブネットにあります。

C. インスタンスは、Oracle Services Network CIDRラベルのすべての<region>サービスを使用するサービス・ゲートウェイを持つプライベート・サブネットにあります。

D. インスタンスは、NAT ゲートウェイを持つプライベート サブネットにあります。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 25

顧客は、Web ベースの Sales アプリケーションを米国西部にある自社のデータセンターから OCI インド西部 (ムンバイ) リージョンに移行中です。彼らはそれを制御された方法で行いたいと考えており、最初はトラフィックの 1% のみが OCI のサーバーに誘導されます。すべてが期待どおりに機能していることを確認した後、同社は、すべてのトラフィックを OCI に完全に移行することに慣れるまで、比率を徐々に増やすことを計画しています。

この状況で利用できる解決策は次のうちどれですか？

A. Geolocation Steering ポリシーを使用した OCI DNS およびトラフィック管理

B. フェイルオーバー・ステアリング・ポリシーを使用したOCI DNSおよびトラフィック管理

C. OCI DNS and Traffic Management with Load Balancer Steering ポリシー

D. OCI DNSおよびOCIロード・バランサ・サービス

正解: A ([コメントを发表する](#))

STEERING POLICIES is A framework to define the traffic management behavior for your zones. Steering policies contain rules that help to intelligently serve DNS answers.

FAILOVER

Failover policies allow you to prioritize the order in which you want answers served in a policy (for example, Primary and Secondary). Oracle Cloud Infrastructure Health Checks are leveraged to determine the health of answers in the policy. If the Primary Answer is determined to be unhealthy, DNS traffic will automatically be steered to the Secondary Answer.

LOAD_BALANCE

Load Balancer policies allow distribution of traffic across multiple endpoints. Endpoints can be assigned equal weights to distribute traffic evenly across the endpoints or custom weights may be assigned for ratio load balancing. Oracle Cloud Infrastructure Health Checks are leveraged to determine the health of the endpoint. DNS traffic will be automatically distributed to the other endpoints, if an endpoint is determined to be unhealthy.

ROUTE_BY_GEO

Geolocation-based steering policies distribute DNS traffic to different endpoints based on the location of the end user. Customers can define geographic regions composed of originating continent, countries or states/provinces (North America) and define a separate endpoint or set of endpoints for each region.

ROUTE_BY_ASN

ASN-based steering policies enable you to steer DNS traffic based on Autonomous System Numbers (ASN).

DNS queries originating from a specific ASN or set of ASNs can be steered to a specified endpoint.

ROUTE_BY_IP

IP Prefix-based steering policies enable customers to steer DNS traffic based on the IP Prefix of the originating query.

質問: 26

あなたは、OCI で作成された開発環境で作業するプロジェクト チームの一員です。VCNのサブネットの1つに指定されたCIDRブロックが正しくないことに気づき、サブネットを削除したいと考えています。削除中に、最初に削除する必要があるリソースがまだあることを示すエラーが表示されます。このエラーには、サブネット内にある VNIC の OCID が含まれています。

この問題をトラブルシューティングするために、次のうちどれを実行しますか？

- A. OCI CLIを使用して「GetVnic」操作を呼び出し、VNICの親リソースを見つけます
- B. VNICのOCIDをコピーしてOCIコンソールの検索ボックスに貼り付け、VNICの親リソースを見つけます。
- C. OCI CLIを使用して、最初にVNICを削除してからサブネットを削除します
- D. OCI CLIを使用して、--force オプションを使用してサブネットを削除します

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

VCN, it must first be empty and have no related resources or attached gateways To delete a VCN's subnets, they must first be empty.

Note: When you create one of the preceding resources, you specify a VCN and subnet for it. The relevant service creates at least one VNIC in the subnet and attaches the VNIC to the resource. The service manages the VNICs on your behalf, so they are not readily apparent to you in the Console. The VNIC enables the resource to communicate with other resources over the network. Although this documentation commonly talks about the resource itself being in the subnet, it's actually the resource's attached VNIC.

If the subnet is not empty, you instead get an error indicating that there are still resources that you must delete first. The error includes the OCID of a VNIC that is in the subnet (there could be more, but the error returns only a single VNIC's OCID).

You can use the Oracle Cloud Infrastructure command line interface (CLI) or another SDK or client to call the GetVnic operation with the VNIC OCID. The response includes the VNIC's display name. Depending on the type of parent resource, the display name can indicate which parent resource the VNIC belongs to. You can then delete that parent resource, or you can contact your administrator to determine who owns the resource. When the VNIC's parent resource is deleted, the attached VNIC is also deleted from the subnet. If there are remaining VNICs in the subnet, repeat the process of determining and deleting each parent resource until the subnet is empty. Then you can delete the subnet.

For example, if you're using the CLI, use this command to get information about the VNIC.

```
oci network vnic get --vnic-id <VNIC_OCID>
```

質問: 27

OCI アーキテクトは、製薬会社の臨床試験からのデータの分析で構成されるソリューションに取り組んでいます。データは、8 個の CPU コアと 70 TB のストレージを持つ OCI Autonomous Data Warehouse (ADW) に格納されています。アーキテクトは、ワークロードの動的な変化に対応するために自動スケーリングをセットアップすることを計画しています。

自動スケーリングを構成する際に考慮する必要があるのは、次のうちどれですか? 2 つ選択してください

- A. 自動スケーリングを有効にしても、同時実行と並列処理の設定は変更されません
- B. Auto Scaling は、CPU とともに IO スループットも直線的にスケーリングします。
- C. データベース メモリ SGA および PGA は、オート スケーリング中に CPU 数の変更の影響を受けません。
- D. このデータベースに自動的に割り当てられる最大 CPU コアは 16 CPU です。

正解: ([正解を表示します](#))

Explanation

Auto scaling is enabled by default when you create an Autonomous Database instance or you can use Scale Up/Down on the Oracle Cloud Infrastructure console to enable or disable auto scaling.

With auto scaling enabled the database can use up to three times more CPU and IO resources than specified by the number of OCPUs currently shown in the Scale Up/Down dialog. When auto scaling is enabled, if your workload requires additional CPU and IO resources the database automatically uses the resources without any manual intervention required.

Enabling auto scaling does not change the concurrency and parallelism settings for the predefined services IO throughput depends on the number of CPUs you provision and scales linearly with the number of CPUs.

質問: 28

あなたは会社の Web アプリケーション インフラストラクチャをオンプレミスから Oracle Cloud Infrastructure に移行する作業を行っています。新しいインフラストラクチャに切り替えた後、外部クライアントの DNS キャッシュ エントリがそれらをオンプレミス インフラストラクチャに転送しないようにする必要があります。

次のオプションのうち、この問題を最小限に抑えるものはどれですか?

- A. 切り替え後の DNS レコードの TTL を増やします。
- B. DNS の変更はすぐに反映されるため、何もする必要はありません。
- C. 切り替え後の DNS レコードの TTL を減らします。
- D. 切り替え前の DNS レコードの TTL を増やします。
- E. 切り替え前の DNS レコードの TTL を減らします。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 29

あなたは、eu-frankfurt-1 地域の 3 つの可用性ドメインにまたがる複数のコンピューティング インスタンス VM を使用するフランクフルトのオンライン小売店のソリューション アーキテクトとして働いています。

Web サイトのトラフィックが非常に多いことに気付いたので、自動スケーリングを有効にしてアプリケーションを削除しましたが、可用性ドメインの 1 つがトラフィックを受信していないことに気付きました。

この状況で何が間違っている可能性がありますか？

- A. 自動スケーリングは、単一の可用性ドメインでのみ機能します。
- B. 3 つのアベイラビリティ ドメインすべてを手動でロード バランサ構成に酸性化する必要があります。
- C. 複数のアベイラビリティ ドメインに対して自動スケーリングを有効にできるのは、英国ロンドン リージョンのみです。
- D. 自動スケーリングは、2 つの可用性ドメインにインスタンスを作成するように構成されたインスタンス プールを使用しています。
- E. インスタンス プール構成にロード バランサーをアタッチするのを忘れました。

正解: **D** ([コメントを发表する](#))

Autoscaling lets you automatically adjust the number of Compute instances in an instance pool based on performance metrics such as CPU utilization. This helps you provide consistent performance for your end users during periods of high demand, and helps you reduce your costs during periods of low demand.

you can associate a load balancer with an instance pool. If you do this, when you add an instance to the instance pool, the instance is automatically added to the load balancer's backend set . After the instance reaches a healthy state (the instance is listening on the configured port number), incoming traffic is automatically routed to the new instance.

Instance pools let you provision and create multiple Compute instances based off the same configuration, within the same region.

By default, the instances in a pool are distributed across all fault Domains in a best-effort manner based on capacity. If capacity isn't available in one fault domain, the instances are placed in other fault domains to allow the instance pool to launch successfully.

In a high availability scenario, you can require that the instances in a pool are evenly distributed across each of the fault domains that you specify. When sufficient capacity isn't available in one of the fault domains, the instance pool will not launch or scale successfully, and a work request for the instance pool will return an "out of capacity" error. To fix the capacity error, either wait for capacity to become available, or use the UpdateInstancePool operation to update the placement configuration (the availability domain and fault domain) for the instance pool.

during create the instance pool you can select the location where you want to place the instances" In the Availability Domain list, select the availability domain to launch the instances in. If you want the instances in the pool to be placed evenly in one or more fault domains, select the Distribute instances evenly across selected fault domains check box. Then, select the fault domains to place the instances in.

質問: 30

e コマース企業は Oracle Cloud Infrastructure (OCI) で実行されており、ブラック フライデーとクリスマスを除いて、多くのコンピューティング インスタンスが 1 年のほとんどの期間、使用されていません。OCI の自動スケーリング機能を使用するよう提案し、スライドを提示して自動スケーリングの機能を紹介します。

顧客へのプレゼンテーションで不正確な選択肢はどれですか？

- A. インスタンス プールがスケールインすると、インスタンスは次の順序で終了します。インスタンスの数は、可用性ドメイン間でバランスがとられ、次にフォールト ドメイン間でバランスが取られます。最後に、フォールト ドメイン内では、最新のインスタンスが最初に終了します。
- B. 自動スケーリング イベント間のクールダウン期間により、システムは更新されたレベルで安定します。
- C. 自動スケーリングには、インスタンス プール内のコンピューティング インスタンスの数を自動的に調整できるように、前提条件としてインスタンス プールが必要です。
- D. 自動スケーリングは、OCI モニタリング サービスによって収集された CPU 使用率などのパフォーマンス メトリックに依存して、自動スケーリング イベントをトリガーします。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 31

あなたの会社の財務部門から連絡がありました。彼らは、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) の計算インスタンスに顧客の機密データを持っており、長期の保持とアーカイブのために OCI Storage に保存したいと考えています。

セキュリティ要件を満たすために、暗号化されていても、このデータが公共のインターネット経由で転送されないようにしたいと考えています。

OCIオブジェクト ストレージに保存したい 長期保存とアーカイブ セキュリティ要件を満たすために、暗号化されていても、このデータが公共のインターネットを介して転送されないようにしたいと考えています。

この要件を満たすオプションはどれですか？

- A. NAT インスタンスを構成し、プライベート サブネット内のコンピューティング間のすべてのトラフィックは、ルート ターゲットとしてプライベート IP を持つこの NAT インスタンスを使用する必要があります。
- B. データ転送時に適切なルート テーブルを持つ NAT ゲートウェイを使用します。次に、データ転送が完了したら、NAT ゲートウェイのトグル (オン/オフ) を使用します。
- C. 適切なルート テーブルでサービス ゲートウェイを使用します。
- D. 適切なファイアウォール ルールでストレージ ゲートウェイを使用します。

正解: ([正解を表示します](#))

Service Gateway is virtual router that you can add to your VCN. It provides a path for private network traffic between your VCN and supported services in the Oracle Services Network like

Object Storage) so compute Instances in a private subnet in your VCN can back up data to Object Storage without needing public IP addresses or access to the internet

有効的な**1z0-997-22-JPN**問題集はJPNTTest.com提供され、**1z0-997-22-JPN**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**1z0-997-22-JPN**試験問題集を提供します。JPNTTest.com 1z0-997-22-JPN試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-997-22-JPN**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-997-22-JPN-mondaishu> **167問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: **32**

さまざまなタイプのコンピューティング インスタンスを起動し、毎日ボリュームをブロックする複数の IAM ユーザーがいます。その結果、Oracle クラウド インフラストラクチャ (OCF) テナancyがすぐにサービス制限に達し、新しいインスタンスを作成できなくなります。環境をクリーンアップしていると、インスタンスとブロック ボリュームの大部分がタグ付けされていないことに気付きます。したがって、これらのリソースの所有者を特定して、安全に終了できるかどうかを確認することは困難です。

このため、あなたの会社は、コンピューティング インスタンスを追加する必要がある新しい命令を発行しました。

この新しい要件を実装する最も簡単な方法はどれですか？

- A. リソースにユーザー名を自動的にタグ付けするポリシーを作成します。
- B. IAM を使用して、ユーザーに特定のリソースのタグ付けを要求するポリシーを作成します。これにより、特定のタグが定義されている場合、ly でコンピューティング インスタンスを起動できます。
- C. タグ変数を作成して、リソースにユーザー名を自動的にタグ付けします。
- D. リソースの作成時に適切なタグが確実に適用されるように、各コンパートメントにデフォルトのタグを作成します。
- E. コンパートメントごとにタグ変数を作成して、リソースにユーザー名を自動的にタグ付けします。

正解: ([正解を表示します](#))

Tag Variables

You can use a variable to set the value of a defined tag. When you add the tag to a resource, the variable resolves to the data it represents. You can use tag variables in defined tags and default tags.

Supported Tag Variables

The following tag variables are supported.

`${iam.principal.name}` The name of the principal that tagged the resource

`${iam.principal.type}` The type of principal that tagged the resource.

`${oci.datetime}` The date and time that the tag was created.

Consider the following example:

`Operations.CostCenter=" ${iam.principal.name} at ${oci.datetime} "`

Operations is the namespace, CostCenter is the tag key, and the tag value contains two tag variables `${iam.principal.name}` and `${oci.datetime}`. When you add this tag to a resource, the variable resolves to your user name (the name of the principal that applied the tag) and a time date stamp for when you added the tag.

`user_name at 2019-06-18T18:00:57.604Z`

The variable is replaced with data at the time you apply the tag. If you later edit the tag, the variable is gone and only the data remains. You can edit the tag value in all the ways you would edit any other tag value. To create a tag variable, you must use a specific format.

`${<variable>}` Type a dollar sign followed by open and close curly brackets. The tag variable goes between the curly brackets. You can use tag variables with other tag variables and with string values. Tag defaults let you specify tags to be applied automatically to all resources, at the time of creation, in a specific compartment. This feature allows you to ensure that appropriate tags are applied at resource creation without requiring the user who is creating the resource to have access to the tag namespaces.

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Tagging/Tasks/managingtagdefaults.htm>

質問: 33

社内の複数の部門が、共有の Oracle Cloud Infrastructure (OCI) テナントを使用してプロジェクトを実装しています。あなたはテナント内のOCIリソースのコスト管理を担当しており、部門の使用状況についてより良い洞察を得る必要があります。

これを実現するために一緒に実装できる 3 つのオプションはどれですか？

- A. 確約金額と一致する予算を作成し、予測の 100% でアラートを作成します。
- B. 統合された予算追跡ラグを設定して、1 詳細な方法でコストを分析します
- C. 部門ごとに異なるコンパートメントを設定し、コンパートメントごとのコストを追跡および分析します
- D. 請求コスト追跡レポートを使用してコストを分析する
- E. コンパートメントで作成された指定されたすべてのリソースに自動的にタグを適用するタグのデフォルトを設定し、これらのタグをコスト分析に使用します。

正解: ([正解を表示します](#))

`budgets`

You can use budgets to track costs in your tenancy. After creating a budget for a compartment, you can set up alerts that will notify you if a budget is forecast to be exceeded or if spending surpasses a certain amount.

OCI Cost Analysis

- * Visualization tools Help understand spending patterns at a glance
- * Filter costs by Date, Tags and Compartments
- * Trend lines show how spending patterns are changing

* To use Cost Analysis you must be a member of the Administrators group

質問: 34

コンパートメントを削除しようとしています。削除操作が低下しており、問題をトラブルシューティングする必要があります。

この問題のトラブルシューティングで考慮すべきではない手順はどれですか？

- A. ルート・コンパートメントに、削除しようとしているコンパートメントを参照するポリシーがないことを確認します。
- B. コンパートメントからすべてのリソースを削除したことを確認します。
- C. テナンスにルート・コンパートメント以外に少なくとも1つのコンパートメントがあることを確認してください。
- D. テナンスがサブスクライブしている各リージョンのコンパートメントでリソースを検索します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 35

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Container Engine for Kubernetes (OKE) で実行されるマイクロサービス ベースのアプリケーションを開発しました。セキュリティ チームは、このアプリケーションに SSL ターミネーションを使用したいと考えています。最小限の手順でこのアプリケーションの安全な SSL ターミネーションを作成するには、どうすればよいですか？

- A. 自己署名証明書とそれに対応するキーを作成します。を使用して Kubernetes シークレットを作成し、これらのアノテーションを Kubernetes サービスに追加します。

Service.beta.kubernetes.io/oci-load-balancer-ssl-ports: "443"

Service.beta.kubernetes.io/oci-load-balancer-tls-secret:SSL-CERTIFICATE-SECRET

- B. 次の注釈を Kubernetes サービスに追加します。

注釈:

service.beta.kubernetes.io/oci-load-balancer-ssl-ports: "443"

service.beta.kubernetes.io/oci-load-balancer-ssl-secret-key: ssl-secret-key

- C. Let's Encrypt を使用して自己署名証明書を生成します。その証明書を OCI Load Balancer で使用します。このロード バランサーを使用して Kubernetes サービスを作成します。

- D. 自己署名証明書とそれに対応するキーを作成します。証明書とキーを使用して Kubernetes シークレットを作成します。次に、これらの注釈を Kubernetes サービスに追加します。

注釈:

service.beta.kubernetes.io/oci-load-balancer-ssl-ports: "443"

service.beta.kubernetes.io/oci-load-balancer-security-list-management-mode:"フロントエンド"

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 36

小売銀行は現在、ミッション クリティカルな顧客アプリケーションをオンプレミスでホストしています。アプリケーションには標準の 3 層アーキテクチャがあり、4 つのアプリケーション サー

バーが着信トラフィックを処理し、アプリケーション データを Oracle Exadata Database Server に格納します。銀行は最近、ミッション クリティカルな顧客アプリケーションでこの問題を回避するために、他のインター アプリケーションへのサービスの中断を経験しました。

DRソリューションの一部として、どのOracle Cloud Infrastructureサービスを推奨する必要がありますか？

- A.** OCI DNS ServiceのPublic Load Balancer、Oracle Database Cloud Backup Service、Object Storage Service、Oracle Bare Metal Cloud Service、Oracle Bare Metal Cloud Service with GoldenGate、OCI Container Engines for Kubernetes、Oracle IPSec VPN
- B.** OCIトラフィック管理、プライベート ・ロード ・バランサ、複数のアベイラビリティ ・ドメインやフォールト ・ドメインに分散されたコンピュート インスタンス、Data Guardを備えたExadata Cloud Service、Oracle FastConnect、オブジェクト ・ストレージ、データベース ・クラウド ・バックアップ ・モジュール
- C.** OCI トラフィック管理、Public load Balancer、複数の可用性ドメインやボールド ドメインに分散されたコンピューティング インスタンス。Exadata Cloud Service with Data Guard、Oracle FastConnect、Object Storage、データベース クラウド バックアップ モジュール
- D.** OCI DNS サービス、複数のリージョンにトラフィックを分散するパブリック ロード バランサを使用するサービスとしてのロード バランサ、仮想マシンを使用する Oracle RAC データベース、異なるリージョンの 2 つの VCN を接続するリモート ピアリング。GoldenGate FastConnect、Object Storage、Database Cloud バックアップ モジュールを備えた Exadata Cloud Service。

正解: ([正解を表示します](#))

OCI Traffic Management Steering Policies can account for health of answers to provide failover capabilities, provide the ability to load balance traffic across multiple resources, and account for the location where the query was initiated to provide a simple, flexible and powerful mechanism to efficiently steer DNS traffic.

Public Load Balancer Accepts traffic from the internet using a public IP address that serves as the entry point for incoming traffic. Load balancing service creates a primary load balancer and a standby load balancer, each in a different availability domain

質問: 37

新しい画像ファイルの処理を自動化してサムネイルを生成したいと考えています。予想されるレートは、1 時間ごとに 10 個の新しいファイルです。

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)でこの要件を満たす最も費用対効果の高いオプションは次のうちどれですか？

- A.** すべてのファイルを Oracle Streaming Service (OSS) ストリームにアップロードします。cron ジョブをセットアップして、Oracle Functions の関数を呼び出してストリームからデータをフェッチします。別の関数を呼び出して、画像ファイルを処理し、サムネイルを生成します。サムネイルを別の OSS ストリームに保存します。

B. OCI オブジェクト ストレージ バケットにファイルをアップロードします。ファイルがアップロードされるたびに、cloud-init スクリプトを使用してコンピューティング インスタンスをプロビジョニングし、ファイルにアクセスして処理し、オブジェクト ストレージ バケットに戻すアクションを含むイベントをトリガーします。処理が完了したら、自動スケーリング ポリシーを使用してインスタンスを終了します。

C. ファイルを取り込み、NoSQL データベースに保存する Web アプリケーションを構築します。Oracle Notification Service (ONS)を使用して通知をトリガーするようにOCIイベント サービスを構成します。ONS はカスタム アプリケーションを呼び出して画像ファイルを処理し、サムネイルを生成します。サムネイルを NoSQL データベース テーブルに保存します。

D. ファイルを OCI オブジェクト ストレージ バケットにアップロードします。ファイルがアップロードされるたびに、イベントが発行されます。Oracle Functions で関数をトリガーするアクションを使用して、これらのイベントをフィルタリングするルールを作成します。この関数はファイル内の画像を処理し、サムネイルをオブジェクト ストレージ バケットに保存します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 38

あなたの会社は最近、Oracle の機能を使用する新しい Web アプリケーションを展開しました。あなたのマネージャーは、システムをより効果的に管理するための主要な実装を行うように指示しました。Oracle 関数は、ユーザーに代わって関数を自動的に監視し、サービス メトリックを通じてメトリックをレポートすることがわかっています。

この機能によって収集され、利用可能になる 2 つの指標はどれですか？

- A.** 関数の実行時間
- B.** 機能が削除された回数
- C.** 関数が呼び出された回数
- D.** 関数によって使用される CPU の量
- E.** 同時接続数

正解: ([正解を表示します](#))

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Functions/Reference/functionsmetrics.htm> you can monitor the health, capacity, and performance of functions you've deployed to Oracle Functions by using metrics Oracle Functions monitors function execution, and collects and reports metrics such as:

The number of times a function is invoked.

The length of time a function runs for.

The number of times a function failed.

The number of requests to invoke a function that returned a '429 Too Many Requests' error in the response (known as 'throttled function invocations').

質問: 39

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) Public Load BalancerのSSL証明書がまもなく期限切れになります。Load Balancer が SSL Termination のみで構成されていることに気付きました。証明書の有

効期限が切れると、データ トラフィックが中断され、セキュリティが侵害される可能性があります。

このような状況を防ぐために、どのような手順を実行する必要がありますか？

- A. 新しい SSL 証明書をロード バランサーに追加し、バックエンド サーバーを更新して新しい証明書を処理し、リスナーを編集して新しい証明書バンドルを使用できるようにします。
- B. 新しい SSL 証明書をロード バランサーに追加し、リスナーとバックエンド セットを更新して、新しい証明書バンドルを使用できるようにします。
- C. 新しい SSL 証明書をロード バランサーに追加し、エンド ツー エンド SSL を実装して、クライアントからバックエンド サーバーまでのトラフィックを暗号化できるようにします。
- D. 新しい SSL 証明書をロード バランサーに追加し、新しい証明書バンドルを使用するようにバックエンド サーバーを更新します。
- E. 新しい SSL 証明書をロード バランサーに追加し、新しい証明書バンドルを使用するようにリスナーを更新します。

正解: ([正解を表示します](#))

<https://docs.cloud.oracle.com/en-us/iaas/Content/Balance/Tasks/managingcertificates.htm>

質問: 40

あなたは、世界中に多数のデータ センターを持つグローバル ヘルスケア企業のソリューションアーキテクトです。あなたの会社が保管しているデータは増え続けるため、既存のオンプレミスのデータベースのバックアップインフラストラクチャから Oracle Cloud Infrastructure (OCI) にデータをアーカイブするための、耐久性があり費用対効果の高いソリューションをセットアップするように指示されました。

この要件を実装するための最も効果的なメカニズムは何ですか？

- A. OCIでファイル・ストレージ・サービスを使用して、既存のデータベースのバックアップから共有ファイル・システムにデータをコピーします
- B. データをOCIオブジェクト・ストレージ・アーカイブ層にバックアップするオンプレミスOCIストレージ・ゲートウェイをセットアップします。
- C. データを OCI オブジェクト Storage Standard 層にバックアップするオンプレミス OCI Storage Gateway をセットアップします。Object Storage ライフ サイクル ポリシー管理を使用して、30 日より古いデータを Standard 層から Archive 層に移動します。
- D. データを OCI Object Storage Standard にバックアップするオンプロミス OCI Storage Gateway をセットアップします。
- E. fastConnectをセットアップしてオンプレミス・ネットワークをOCI VCNに接続し、rsyncツールを使用してデータをOCIオブジェクト・ストレージ・アーカイブ層にコピーします。

正解: ([正解を表示します](#))

Oracle Cloud Infrastructure offers two distinct storage tiers for you to store your unstructured data. Use the Object Storage Standard tier for data to which you need fast, immediate, and frequent access. Use the Archive Storage service's Archive tier for data that you access infrequently, but which must be preserved for long periods of time. Both storage tiers use the

same manageable resources (for example, objects and buckets). The difference is that when you upload a file to Archive Storage, the object is immediately archived. Before you can access an archived object, you must first restore the object to the Standard tier.

you can use Storage Gateway to move files to Oracle Cloud Infrastructure Archive Storage as a cost effective backup solution. You can move individual files and compressed or uncompressed ZIP or TAR archives. Storing secondary copies of data is an ideal use case for Storage Gateway.

質問: 41

グローバルな小売業者は、e コマース プラットフォームを再設計してマイクロサービス アーキテクチャを採用することを決定しました。彼らは、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) を使用して、アプリケーション アーキテクチャをより小さな独立したサービスに分離したいと考えています。これらのアプリケーション インスタンスを実行するために、コンテナとサーバー テクノロジーの両方を使用することにしました。

この新しいプラットフォームを構築するには、どのオプションをお勧めしますか？

- A. OCI に kubernetes クラスターをインストールし、OCI イベント サービスを使用します。
- B. kubernetes、OCI レジストリおよびOCI機能にOracle Container Engineを使用します。
- C. OCI Resource Manager を使用してコンピューティング インスタンスのプロビジョニングを自動化し、OCI ストリーミング サービスを使用します。
- D. OCI 関数、OCI オブジェクトストレージ、および OCI イベント サービスを使用します。

正解: ([正解を表示します](#))

Oracle Functions is a fully managed, multi-tenant, highly scalable, on-demand, Functions-as-a-Service platform. It is built on enterprise-grade Oracle Cloud Infrastructure and powered by the Fn Project open source engine. Use Oracle Functions (sometimes abbreviated to just Functions) when you want to focus on writing code to meet business needs.

Oracle Cloud Infrastructure Container Engine for Kubernetes is a fully-managed, scalable, and highly available service that you can use to deploy your containerized applications to the cloud. Use Container Engine for Kubernetes (sometimes abbreviated to just OKE) when your development team wants to reliably build, deploy, and manage cloud-native applications. You specify the compute resources that your applications require, and Container Engine for Kubernetes provisions them on Oracle Cloud Infrastructure in an existing OCI tenancy.

質問: 42

Oracle Cloud Infrastructure (OCI) のプライベート ネットワークとパブリック ネットワークの両方で実行されているオンプレミスのデータ センターとサーバーからアクセスできるように、Autonomous Data Warehouse (ADW) を設計およびデプロイしました。

さまざまなアクセス パスから ADW データベースへの接続をテストしているときに、プライベート ネットワークで実行されているサーバーが ADW に接続できないことに気付きました。プライベート ネットワーク上のサーバーから ADW への接続を有効にするには、どの 2 つの手順を実行する必要がありますか？ 2つ選んでください。）

- A. C10R ブロック 10.2.2.0/24 の入力トラフィックを許可する ADW のセキュリティ リストにエントリを追加します。
- B. 宛先が 0.0.0.0/ のルート テーブル (プライベート サブネットに関連付けられている) にエントリを追加します。0.0.0.0/0 およびすべての IP プロトコルに対して。
- C. CIDR ブロック 10.2.2.0/24 の ASW のアクセス テーブル リストにエントリを追加します。
- D. 宛先が 0.0.0.0/0 のルート テーブル (プライベート サブネットに関連付けられている) にエントリを追加します。インターネット ゲートウェイのターゲット タイプである場合、すべての IP プロトコルに対して、宛先が 0.0.0.0/0 のセキュリティ リスト (プライベート サブネットに関連付けられている) にステートフルな出力を追加します。
- E. IP アドレス 129.146.160.11 の ADW のアクセス制御リストにエントリを追加します。

正解: ([正解を表示します](#))

There are 3 connections to ADW

- 1- Connecting to (ADW) from Public Internet
- 2- Connecting to ADW (via NAT or Service Gateway) from a server running on a private subnet in OCI (in the same tenancy)
- 3- Connecting to ADW (via internet Gateway) from a server running on a public subnet in OCI (in the same tenancy)

質問: 43

Oracle Cloud Infrastructureに複数のコンピュー ト・インスタンスを持つ多層アプリケーションをデプロイしました。これらのボリュームをバックアップする必要があり、ボリューム グループの機能を使用することにしました。ブロック ボリュームとコンピュー ト インスタンスは、テナント内の異なるコンパートメントに存在します。

定期的に、いくつかの子コンパートメントが別の親コンパートメントの下に移動され、ボリューム グループのバックアップが失敗することがあります。

原因は何ですか？

- A. 構成されているボリューム グループのバックアップ クォータを超えています。
- B. 複数のコンピュー ト インスタンスに同じブロック ボリュームが接続されています。これらの計算インスタンスが異なるコンパートメントにある場合、関連するすべてのコンパートメントを同時に移動する必要があります。
- C. 複数のブロック ボリュームがアタッチされたコンピュー ト・インスタンスは、コンパートメントが移動されたときに移動できません。
- D. コンパートメントが移動されたときに、バックアップを許可するアイデンティティおよびアクセス管理ポリシーの移動に失敗しました。

正解: ([正解を表示します](#))

You can move a compartment to a different parent compartment within the same tenancy. When you move a compartment, all its contents (subcompartments and resources) are moved with it. Moving a compartment has implications for the contents.

After you move a compartment to a new parent compartment, the access policies of the new parent take effect and the policies of the previous parent no longer apply. Before you move a compartment, ensure that:

You are aware of the policies that govern access to the compartment in its current position.

You are aware of the policies in the new parent compartment that will take effect when you move the compartment.

In some cases, when moving nested compartments with policies that specify the hierarchy, the policies are automatically updated to ensure consistency.

質問: 44

グローバルなメディア組織が、ユーザーが自分の動画を自分のサイトにアップロードできるようにするプロジェクトに取り組んでいます。アップロードが完了すると、ビデオは AI アルゴリズムによって自動的に処理されます。アルゴリズムは、将来的に関連する広告を表示するために使用できるように、ビデオ内のアクションを認識しようとしています。開発チームは、AI コードの作成に集中したいと考えており、高可用性、スケーラビリティ、セキュリティ、および監視のための基盤となるインフラストラクチャについて心配したくありません。

このプロジェクトに推奨する OCI サービスはどれですか？

A. OCI Events サービスを使用して、ビデオの自動処理、Oracle Container Engine for Kubernetes (OKE)、および OCI Digital Assistant をトリガーします。

B. Oracle Container Engine for Kubernetes (OKE) を使用して、AI Code、OCI 通知、およびオブジェクトストレージをデプロイします。

C. OCI Resource Manager を使用して、基盤となるインフラストラクチャ、OCI 関数および OCI イベント サービスを管理します。

D. ビデオ、OCI イベント サービスおよび OCI 関数の格納にオブジェクト ストレージを使用

正解: ([正解を表示します](#))

Oracle Functions is a fully managed, multi-tenant, highly scalable, on-demand, Functions-as-a-Service platform. It is built on enterprise-grade Oracle Cloud Infrastructure and powered by the Fn Project open source engine. Use Oracle Functions (sometimes abbreviated to just Functions) when you want to focus on writing code to meet business needs.

The serverless and elastic architecture of Oracle Functions means there's no infrastructure administration or software administration for you to perform. You don't provision or maintain compute instances, and operating system software patches and upgrades are applied automatically. Oracle Functions simply ensures your app is highly-available, scalable, secure, and monitored. With Oracle Functions, you can write code in Java, Python, Node, Go, and Ruby (and for advanced use cases, bring your own Dockerfile, and Graal VM). You can then deploy your code, call it directly or trigger it in response to events, and get billed only for the resources consumed during the execution.

You can create automation based on state changes for your Oracle Cloud Infrastructure resources by using event types, rules, and actions. When the function is executing inside the container, the function can read from and write to other resources and services running in the

same subnet (for example, Database as a Service). The function can also read from and write to other shared resources (for example, Object Storage), and other Oracle Cloud Services.

質問: 45

あなたのチームは、最近の計画外の停止に続いて、ルート分析 (RCA) を実施しています。本番 WebLogicサーバーにアタッチされたブロック ボリュームの1つが削除されたため、アクションのソースを特定するタスクが発生しました。監査ログを検索し、過去 24 時間に発生したいくつかの削除アクションを見つけます。このイベントのサンプルを考えてみましょう。

DeleteVolume API 呼び出しを開始した個人またはサービスを特定するのに役立つイベント ログの項目はどれですか？

- A. requestAgent
- B. イベントソース
- C. プリンシパル
- D. requestOrigin
- E. イベントID

正解: ([正解を表示します](#))

The Oracle Cloud Infrastructure Audit service automatically records calls to all supported Oracle Cloud Infrastructure public application programming interface (API) endpoints as log events.

Currently, all services support logging by Audit.

Every audit log event includes two main parts:

Envelopes that act as a container for all event messages

Payloads that contain data from the resource emitting the event message
The identity object contains the following attributes.

data.identity.authType The type of authentication used.

data.identity.principalId The OCID of the principal.

data.identity.principalName The name of the user or service. This value is the friendly name associated with principalId .

質問: 46

ある小売企業には、複数の地理的な場所にまたがる複数のオンプレミス データ センターがあります。一部のアプリケーションをオンプレミスのデータセンターから Oracle Cloud Infrastructure (OCI) に移行する予定です。OCIで実行されているこれらのアプリケーションの場合、オンプレミスのデータセンターで実行されているアプリケーションとやり取りして、Oracle Cloud Infrastructure (OCI)に接続する必要があります。OCIで実行されているこれらのアプリケーション用。オンプレミスのデータ センターで実行されているアプリケーションと対話する必要があります。これらのアプリケーションには、オンプレミスのデータセンターと OCI の間の可用性が高く、フォールトトレラントなネットワーク接続が必要です。

最高レベルの冗長性を提供するには、どのオプションを推奨する必要がありますか？

- A. Oracle Cloud Infrastructureはデフォルトでネットワーク冗長性を提供するため、他の操作は必要ありません

- B. データ センターが複数の地理的な場所にまたがっている場合は、特定の IP アドレスのみを特定の地理的な場所の静的ルートとして使用します。
- C. IPSec VPNとFastConnectの両方を設定して、オンプレミスのデータセンターをOracle Cloud Infrastructureに接続します。
- D. データセンターからOracle Cloud Infrastructureへの安全なアクセスを確保するためにのみ、FastConnectプライベート ・ピアリングを使用してください
- E. 単一のIPSec VPN接続を設定します(費用対効果が高いため、データ ・センターからOracle Cloud Infrastructureへ)

正解: ([正解を表示します](#))

If your data centers span multiple geographical locations, we recommend using a broad CIDR (0.0.0.0/0) as a static route in addition to the CIDR of the specific geographical location. This broad CIDR provides high availability and flexibility to your network design. For instance, the following diagram shows two networks in separate geographical areas that each connect to Oracle Cloud Infrastructure. Each area has a single on-premises router, so two IPSec VPN connections can be created. Note that each IPSec VPN connection has two static routes: one for the CIDR of the particular geographical area, and a broad 0.0.0.0/0 static route.

有効的な**1z0-997-22-JPN**問題集はJPNTTest.com提供され、**1z0-997-22-JPN**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**1z0-997-22-JPN**試験問題集を提供します。JPNTTest.com 1z0-997-22-JPN試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-997-22-JPN**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-997-22-JPN-mondaishu> **167問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 47

デジタル マーケティング会社は、Oracle Cloud Infrastructure (OCI) で Web サイトをホストし、OCI Container Engine for Kubernetes (OKE) を活用することを計画しています。Web サーバーは、OCI Object Storage にアクセスするための API 呼び出しを行い、ユーザーがアップロードしたすべての画像を保存します。

セキュリティ上の理由から、Web サーバーがアクセスを許可するために使用する資格情報が、コンピューティング インスタンスにローカルに保存されないようにするよう、上司から指示されました。

このシナリオで最小の労力で実装できるソリューションはどれですか？

- A. OCIレジストリ(OCIR)を使用して資格証明を構成します。OCIレジストリは自動的にOKEに接続し、WebサーバーがOCIオブジェクト ・ストレージへのAPIコールを実行できるようにします。
- B. OCIキー管理を使用して資格証明を構成し、インスタンスがAPIコールを実行してOCIオブジェクト ・ストレージへのアクセスを許可できるようにします。

C. インスタンス プリンシパルを使用して資格情報を構成し、Web サーバーが OCI オブジェクト ストレージへの API 呼び出しを行えるようにします。

D. 透過的データ暗号化 (TDE) を使用するように資格情報を構成します。これにより、Web サーバーは OCI オブジェクト ストレージへの API 呼び出しを自動的に行うことができます。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 48

Oracle Cloud Infrastructureに複数のコンピューター インスタンスを持つ多層アプリケーションをデプロイしました。これらのボリュームをバックアップする必要があり、「ボリューム グループ」機能を使用することにしました。ブロック ボリュームとコンピューター インスタンスは、テナント内の異なるコンパートメントに存在します。

定期的に、いくつかの子コンパートメントが別の親コンパートメントの下に移動され、ボリューム グループのバックアップが失敗することがあります。

原因は何ですか？

A. 構成されているボリューム グループのバックアップ クォータを超えています。

B. 複数のコンピューター インスタンスに同じブロック ボリュームが接続されています。これらの計算インスタンスが異なるコンパートメントにある場合、関連するすべてのコンパートメントを同時に移動する必要があります。

C. 複数のブロック ボリュームがアタッチされたコンピューター インスタンスは、コンパートメントが移動するときに移動できません。

D. コンパートメントが移動されたときに、バックアップを許可するアイデンティティおよびアクセス管理ポリシーの移動に失敗しました。

正解: D ([コメントを发表する](#))

質問: 49

Oracle Cloud Infrastructure (OCI)コンソールを使用してコンピューター インスタンスを作成しています。コンピューター インスタンスの起動にOracle提供のイメージを使用することにしました。オラクルが提供するイメージを使用する場合に正しいオプションはどれですか？

A. Windows イメージでは、cloud-init を使用してカスタム ユーザー データ スクリプトが実行され、GPU サポートの有効化などのさまざまなタスクが実行されます。

B. Oracle が提供するイメージは、インスタンスの起動中にカスタム メタデータを提供する機能をサポートしていません。

C. Linux ベースのイメージの場合、インターネットを介したホストへのアクセスは SSH プロトコル経由でのみ許可され、他のすべてのリモート アクセスは無効になります。

D. Windows 以外のイメージを選択した場合、パッケージをダウンロードして更新する唯一の方法は、apt または yum コマンドを実行することです。

正解: ([正解を表示します](#))

<https://blogs.oracle.com/developers/post/working-with-oracle-cloud-infrastructure-custom-compute-images>

質問: 50

このコンパートメント構造を与えます:

Compute コンパートメントにあるコンピュータ インスタンスを SysTes-Team に移動します。Oracle Cloud Infrastructure (OCI) アカウントにログインし、[リソースの移動] オプションを使用します。

コンピューティング リソースを移動しようとするとなりますか?

- A.** 移動は成功しますが、コンピュータ インスタンスとそのパブリックおよびプライベート IP アドレスは同じままです。Compute インスタンスの VNIC は個別に移動する必要があります。コンピュータ インスタンスは引き続き元の VCN に関連付けられます。
- B.** 移動は失敗し、最初に VCN を移動するよう求められます。VCN がターゲット コンパートメントに移動されると、コンピュータ インスタンスを移動できます。
- C.** コンピュータ インスタンスのパブリックおよびプライベート IP アドレスが変更されても移動は成功し、ターゲット コンパートメントの VCN に関連付けられます。
- D.** 移動は成功しますが、コンピュータ インスタンスとそのパブリックおよびプライベート IP アドレスは同じままです。コンピュータ インスタンスの VNIC は引き続き元の VCN に関連付けられます。

正解: ([正解を表示します](#))

Moving Resources to a Different Compartment

Most resources can be moved after they are created. There are a few resources that you can't move from one compartment to another. Some resources have attached resource dependencies and some don't.

Not all attached dependencies behave the same way when the parent resource moves.

For some resources, the attached dependencies move with the parent resource to the new compartment.

The parent resource moves immediately, but in some cases attached dependencies move asynchronously and are not visible in the new compartment until the move is complete.

For other resources, the attached resource dependencies do not move to the new compartment.

You can move these attached resources independently.

You can move Compute resources such as instances, instance pools, and custom images from one compartment to another. When you move a Compute resource to a new compartment, associated resources such as boot volumes and VNICs are not moved.

You can move a VCN from one compartment to another. When you move a VCN, its associated VNICs, private IPs, and ephemeral IPs move with it to the new compartment.

質問: 51

ある土木会社はオンライン ポータルを運営しており、エンジニアはそこに建設の写真、ビデオ、その他のデジタル ファイルをアップロードできます。

実装する必要がある新しい要件があります。オンライン ポータルは、デジタル コンテンツを Object Storage バケットに 72 時間オフロードする必要があります。指定された制限時間が経過すると、ポータルはすべてのデジタル コンテンツをローカルに保持し、次のオフロード期間を待ちます。

この要件を満たすオプションはどれですか？

- A. Object Storage バケット全体の事前認証済み URL を作成して、コンテンツを読み取り、72 時間の有効期限で一覧表示します。
- B. Object Storage バケットにアップロードされたオブジェクトごとに、72 時間の有効期限を持つ事前認証済み URL ロットを作成します。
- C. ポータル コンピューティング インスタンスに一致するルールを使用して動的グループを作成し、オブジェクトストレージ バケットへのアクセスを 72 時間許可します。
- D. Object Storage バケット全体の事前認証済み URL を作成して、有効期限が 72 時間のコンテンツを書き込みます。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

Pre-authenticated requests provide a way to let users access a bucket or an object without having their own credentials, as long as the request creator has permission to access those objects.

For example, you can create a request that lets operations support user upload backups to a bucket without owning API keys. Or, you can create a request that lets a business partner update shared data in a bucket without owning API keys.

When creating a pre-authenticated request, you have the following options:

You can specify the name of a bucket that a pre-authenticated request user has write access to and can upload one or more objects to.

You can specify the name of an object that a pre-authenticated request user can read from, write to, or read from and write to.

Scope and Constraints

Understand the following scope and constraints regarding pre-authenticated requests:

Users can't list bucket contents.

You can create an unlimited number of pre-authenticated requests.

There is no time limit to the expiration date that you can set.

You can't edit a pre-authenticated request. If you want to change user access options in response to changing requirements, you must create a new pre-authenticated request.

The target and actions for a pre-authenticated request are based on the creator's permissions.

The request is not, however, bound to the creator's account login credentials. If the creator's login credentials change, a pre-authenticated request is not affected.

You cannot delete a bucket that has a pre-authenticated request associated with that bucket or with an object in that bucket.

質問: 52

Oracle Cloud Infrastructureのロード バランシング サービスに関して、次の選択肢のうち正しいものはどれですか？

- A. パブリック ロード バランサーは、フローティング パブリック IP アドレスをプライマリ ロード バランサーに適用します。
- B. ロード バランサーの形状を動的に変更して、より多くの着信トラフィックを処理できます。
- C. プライベート ロード バランサーを作成する場合、サービスには、プライマリ ロード バランサーとスタンバイ ロード バランサーの両方をホストするために 2 つ以上のサブネットが必要です。
- D. パブリック ロード バランサーは、スコープが可用性ドメイン固有です。

正解: **A** ([コメントを發表する](#))

質問: 53

仮想マシン上の Oracle Cloud Infrastructure (OCI) 2 ノード RAC DB システムのバックアップを構成しました。コンソールでは、データベース バックアップのステータスが [失敗] と表示されます。

このバックアップの問題の原因として最も可能性が高いのは、次のうちどれですか？

- A. データベース内のデータの暗号化と復号化のために OCI Key Management に格納されたマスター キーは、バックアップ サービスにアクセスできません。
- B. Object Store Swift エンドポイントで使用されている認証トークンが正しくありません。
- C. RMAN バックアップ エージェントは、使用されているデータベースのバージョンと互換性がありません。
- D. データベースに接続されているOCIファイル ストレージ サービスのファイル システムに割り当てられたストレージがいっぱいです。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 54

Oracle Infrastructure (OCI) Autonomous transaction Processing Serverless (ATP-S) デプロイメントに適した 3 つのシナリオはどれですか？

- A. 十分に確立されたオンライン オークション マーケットプレイスでは、24 時間年中無休でデータベースが使用されるアプリケーションが実行されていますが、アクティビティのピークがいつ発生するかを予測するのが難しく、アクティビティの合計が通常のアクティビティ レベルの 3 倍に達する可能性があります。
- B. 小規模なスタートアップが e コマースに新しいアプリケーションを展開しており、顧客のトランザクションを保存するデータベースが必要です。これは新しいアプリケーションであるため、負荷がどのようになるかについてチーム b は考えています。
- C. 中規模企業が、オンプレミスのレガシーMongoDBデータベースをOracle Cloud Infrastructure (OCI)に移行することを検討しています。平日よりも週末の方がデータベースのワークロードが大幅に高くなる
- D. 社内プロジェクトに取り組んでいる開発者は、勤務時間中にデータベースを使用する必要がありますが、夜間や週末には必要ありません。プロジェクトの予算では、コストを低く抑える必要があります。

E. 製造会社は、オンプレミスで Oracle E-Business Suite アプリケーションを実行しています。彼らは、このアプリケーションを OCI に移行することを検討しており、データベース層にマネージド データベース オファリングを使用したいと考えています。

正解: ([正解を表示します](#))

MongoDB is a cross-platform document-oriented database program. Classified as a NoSQL database program, MongoDB uses JSON-like documents with schema, so the best to be migrated to Oracle NoSQL Database.

<https://blogs.oracle.com/nosql/migrate-mongodb-data-to-oracle-nosql-database> Autonomous transaction Processing Serverless (ATP-S) isn't supported yet for EBS database

有効的な**1z0-997-22-JPN**問題集はJPNTTest.com提供され、**1z0-997-22-JPN**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**1z0-997-22-JPN**試験問題集を提供します。JPNTTest.com 1z0-997-22-JPN試験問題集はもう更新されました。ここで**1z0-997-22-JPN**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/1z0-997-22-JPN-mondaishu> **167問、30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」